

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	国語	科目名	現代文A	単位数	2
対象学年組	3年			A組 B組 C組 D組 E組	
使用教科書	「現代文A」大修館書店				
使用教材	「ブライム常用国語」第一学習社				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	・随筆「どんな人になりたかったか？」 ・漢字学習	A：筆者が理想とする人物像を読み取り、自分に引き付けて考えることができる。 B：筆者が理想とする人物像を読み取ることができる。 A：頻出漢字のうち、3割の読み書きができる。 B：頻出漢字のうち、2割の読み書きができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	8
	5月	・小説「青が消える」 ・漢字学習	A：作品の場面展開、主人公心理を読み取り、青が消えることの象徴を考慮することができる。 B：作品の場面展開、主人公心理を読み取ることができる。 A：頻出漢字のうち、3割の読み書きができる。 B：頻出漢字のうち、2割の読み書きができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	9
	6月	・評論「実体の美と状況の美」 ・漢字学習	A：宮大工の仕事に対する気概を読み取り、自分の夢について考えることができる。 B：宮大工の仕事に対する気概を読み取ることができる。 A：頻出漢字のうち、3割の読み書きができる。 B：頻出漢字のうち、2割の読み書きができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	9
	7月	・評論「人工の自然—科学技術の今を生きるために」 ・漢字学習	A：論理の展開や要旨を的確に捉え、筆者の主張について自分の意見を持つことができる。 B：論理の展開や要旨を的確に捉えることができる。 A：頻出漢字のうち、3割の読み書きができる。 B：頻出漢字のうち、2割の読み書きができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	6
2 学期	8月				
	9月	・評論「考える筆であり続ける」 ・課題作文	A：本文の要旨を理解し、異文化理解を筆者の主張の視点から考えることができる。 B：本文の要旨を理解し、異文化理解を考慮することができる。 A：指定時間内に指定字数でテーマに沿った文章が書ける。 B：指定字数でテーマに沿った文章が書ける。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	8
	10月	・小説「その夜のコニャック」 ・漢字学習	A：人物の心情と描かれた状況を把握し、状況と人間の関わりについて考えることができる。 B：人物の心情と描かれた状況を把握することができる。 A：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。 B：頻出漢字のうち、4割の読み書きができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	7
	11月	・「夢を建てる人々」 ・漢字学習	A：筆者の主張を理解し、「人工の自然」について話し合うことができる。 B：「人工の自然」と、筆者の主張を理解することができる。 A：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。 B：頻出漢字のうち、4割の読み書きができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	6
	12月	・評論「ものとことば」 ・漢字学習	A：文章の構成、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張を捉える。特に言語の特性について考えることができる。 B：文章の構成、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張を捉えることができる。 A：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。 B：頻出漢字のうち、4割の読み書きができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	5
3 学期	1月	・小説「高瀬舟」 ・漢字学習	A：構成や展開を理解し、人間や人間社会への理解を深めることができる。 B：構成や展開を理解し、人間や人間社会への理解をすることができる。 A：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。 B：頻出漢字のうち、4割の読み書きができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	6
	2月	・詩歌「小景異情」「六月」 ・漢字学習	A：声に出して読み、情景や心情を捉え、言葉のリズムを味わうことができる。 B：声に出して読み、情景や心情を捉えることができる。 A：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。 B：頻出漢字のうち、4割の読み書きができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	6
	3月				

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	地理歴史科	科目名	世界史 A	単位数	2
対象学年組	3年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	帝国書院 明解世界史 A				
使用教材	なし				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	序節 人類の始まり	地球上に現れた人類と文明について概略を整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	6
	5月	諸地域世界の形成	古代～中世の間、各地で形成された「文明世界(文化圏)」の概略を整理・理解する。前半は東アジア(中国と周辺)、南アジア(インドと周辺)が対象となる。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 定期考査の結果 等	8
	6月	諸地域世界の形成(続き)	後半は西アジア(オリエント～イスラーム世界)、ヨーロッパ(地中海～東西キリスト教世界)が対象。扱う時代が幅広いので、概略の整理・理解が目標となる。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	8
	7月	諸地域世界の形成(続き)	後半は西アジア(オリエント～イスラーム世界)、ヨーロッパ(地中海～東西キリスト教世界)が対象。扱う時代が幅広いので、概略の整理・理解が目標となる。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 定期考査の結果 等	6
2 学期	8月				
	9月	諸地域世界の交流(中世まで)、近代への胎動	ほぼ13世紀ころまでの諸地域世界間の交流を整理・理解し「大航海」時代がそれを変えたこと、近代への胎動はルネサンス以後の西欧で始まったことを整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	8
	10月	近代への胎動(続き)	ルネサンスの影響を受け、16世紀の西欧で「宗教改革」が展開され、それが市民や諸国指導者(君主)にとって、近代への出発点となったことを整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 定期考査の結果 等	8
	11月	19世紀の欧米と世界	欧米先進諸国(列強)の動きと、その侵略を受けた非欧米諸地域の動きを対比させ、世界大戦前の動きを概略的に整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	8
	12月	第一次世界大戦がもたらしたものの	20世紀前半の「第一次・第二次世界大戦」が近代と現代の節目となったこと、特に第一次世界大戦の経過と戦後への影響などを整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 定期考査の結果 等	6
3 学期	1月	経済危機から第二次世界大戦へ	20世紀前半の「第一次・第二次世界大戦」が近代と現代の節目となったこと、特に第二次世界大戦の経過と戦後への影響などを整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	10
	2月	学年末考査/答案返却			2
	3月				

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	2
対象学年組	3年		A組、B組、C組、D組、E組		
使用教科書	高校数学Ⅱ 新訂版 実教出版				
使用教材	高校数学Ⅱサブノート 実教出版				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	整式の乗法 因数分解	中学校の式の展開・因数分解の復習。3次式の展開や因数分解もごくわずかにあるので、数学の苦手な生徒には細心の注意をしながら指導はしている。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	7
	5月	分数式 複素数	分数式の約分・通分を理解し、分数式の四則計算ができる。 虚数単位iの理解が出来複素数の四則計算ができる、	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	9
	6月	2次方程式 解と係数の関係	解の範囲を複素数まで拡張し2次方程式が解ける。 解と係数の関係を理解し対称式の値を求めることができる。 2次方程式の解の判別ができる、	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	10
	7月	整式の除法	$A=BQ+R$ の除法の原理を理解し整式の除法ができる。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	4
2 学期	8月				
	9月	剰余の定理と因数定理 高次方程式	剰余の定理を理解し、整式の除法の余りを求めることができる。 因数定理を理解し高次式の因数分解ができる。 高次方程式を因数定理を用いて解くことができる。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	10
	10月	直線上の点の座標と内分点	直線上における2点間の距離、線分の内分点・中点・外分点を求めることができる。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	9
	11月	平面上の点の座標と内分点	平面上における2点間の距離、線分の内分点・中点・外分点を求めることができる。平面上の三角形の重心の座標を求めることができる。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	8
	12月	直線の方程式（一部）	中学校の復習としての直線の方程式の理解ができる。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	9
3 学期	1月	直線の方程式 2直線の関係 円の方程式	直線の傾き・切片等が理解出来、様々な条件で直線の方程式を求めることができる。 2直線の平行、垂直が理解出来、式として求めることができる。 円の定義を理解し、グラフを書くことができる。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	7
	2月	定期考査	定期考査の返却で要点を説明する。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	1
	3月				

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	数学	科目名	大進数学B	単位数	2
対象学年組	3年 大学進学コース				
使用教科書	新編数学B (第一学習社)				
使用教材	スタディNEW数学B				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4 月	数列とその一般項 等差数列 等差中項 調和数列 等差数列の和 ピタゴラス数	数列の具体例を示し定義を説明する。 等差数列の一般項が求められ、等差中項の応用問題が解ける。 等差数列の和の求め方をガウスの歴史的逸話を通して説明し公式化する。 ピタゴラス数の求め方の計算をする。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	6
	5 月	等比数列 等比中項 等比数列の和 Σ記号とその計算	ポーゼの法則の小惑星がガウスの予想によって見つかった話題を等比数列の導入とする。 等比数列の一般項を指数部分に注意して求められる。 等比数列の和の公式、S-Sr法等を理解させ問題演習ができる。 Σ記号の様々なパターンの計算ができる。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	8
	6 月	階差数列 部分分数展開 和から一般項へ	階差数列をわかりやすく説明し具体的な問題も解くことができる。 部分分数展開による数列の和を求めることができる。 和から一般項を導く問題演習をする。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	11
	7 月	漸化式とは	漸化式の定義と具体例で理解を定着させる。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	4
2 学期	8 月				
	9 月	漸化式とは特性方程式・特性解の意味、漸化式の解き方 簡単な分数形漸化式 階差数列か特性解かどちらの解き方が理想か。 隣接3項間漸化式	特性方程式・特性解の意味を理解させる。 特性解を用いた漸化式を解く練習をし定着させる。 簡単な分数形漸化式を解く。 階差数列よりも特性解を用いた方が「スムーズ」に解けることを示す。 隣接3項間漸化式を特性解を用いた変形を示し練習する。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	10
	10 月	フィボナッチの数列の隣接3項間漸化式を解く 連立漸化式 分数形漸化式 確率と漸化式	フィボナッチの数列の漸化式を解き一般項を求める。 連立漸化式を文字係数を用いて解く。 分数系漸化式を特性解による変形で解く。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	9
	11 月	数学的帰納法 ベクトルの定義 ベクトルの演算・成分・内積 位置ベクトル	数学的帰納法の原理をドミノを例にして説明する。練習問題も行う。 大きさと方向を持った量をベクトルとして定義し説明する。 演算を行った後で、ベクトルのもう一つの定義である成分を様々な例で説明、演習する。内積の定義を矢線ベクトルと成分の両方で行う。 位置ベクトルの説明の後、様々な演習問題を行う。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	9
	12 月	ベクトルの図形への応用	ベクトルの応用問題を解くための性質・公式を整理して示し使い方のテクニックを徹底させながら解く。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	4
3 学期	1 月	ベクトル方程式 空間のベクトルの演算・成分・内積 空間の位置ベクトル 球面の方程式	ベクトル方程式の説明と演習問題を行う。 空間座標の定義と同時に空間ベクトルの演算・成分・内積の演習を行う。 空間の位置ベクトル・球面の方程式でベクトルの学習を終える。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	8
	2 月	定期考査	定期考査の返却で要点を説明する。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	1
	3 月				

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	単位数	3
対象学年組	3年 大学進学コース				
使用教科書	新編数学Ⅲ（第一学習社）				
使用教材	スタディ数学Ⅲ（第一学習社）				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	収束と発散、極限の基本性質 不等式と極限、はさみうちの原理、無限等比数列	数列の基本の収束と発散を理解させる。 三角関数を含んだ簡単な問題をはさみうちの原理を用いて理解させる。 無限等比数列の演習。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	11
	5月	漸化式と極限 フィボナッチの数列、黄金比 無限級数 無限等比級数 関数の極限	漸化式の基本形を用いた極限の計算。 フィボナッチの数列と黄金比を紹介し極限値が黄金比になることを示す。 無限級数、無限等比級数の演習。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	12
	6月	極限の計算 三角関数と極限 連続関数・中間値の定理 微分可能性と連続性 積・商の微分法 合成関数の微分法 逆関数・三角関数 指数 対数関数の微分法	三角関数の極限値を図形的に説明する。 中間値の定理の系の定理を用いて問題演習を行う。 積・商・合成関数・逆関数の微分法の説明と演習。 指数関数の微分を極限を用いて導き計算も示す。 対数関数の微分法その他の一連の公式を示し、演習。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	13
	7月	高次導関数 媒介変数表示と微分法	高次導関数・媒介変数の微分法の演習。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	9
2 学期	8月				
	9月	接線と法線 平均値と定理 テイラー展開、オイラーの公式 関数の極大・極小、グラフ 漸近線の求め方 最大最小 方程式不等式への応用 速度・加速度・近似式	接線と法線の公式の確認。 平均値の定理をテイラー展開(マクローリン展開)に発展させ最後にオイラーの公式でまとめる。極値凹凸その他を用いて漸近線もからめてグラフ書きの練習を行う。 最大最小・方程式不等式への応用を説明する。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	14
	10月	不定積分 置換積分 部分積分 定積分 定積分の置換部分積分 微積分学の基本定理 区分積法	不定積分・置換・部分積分等、積分の計算練習を行う。 定積分も同様に行う。 区分積法の応用問題もおこなう。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	12
	11月	定積分と不等式 面積・体積、バップ・スキューラの定理 曲線の長さ	体積の検算をバップ・スキューラの定理を用いて行う。 定積分と不等式・局線の長さの説明と演習。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	12
	12月	複素数平面	複素数平面全体の説明と演習。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	9
3 学期	1月	複素数平面 式と曲線	複素数平面全体の説明と演習。 式と曲線全体の説明と演習。	*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	12
	2月			*各単元・項目の基礎的な知識と技能が身についている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身についている。 *問題演習や課題プリントの結果も評価に入れる。	1
	3月				

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2
対象学年組	3年		大学進学コース		
使用教科書	実教出版 高校生物基礎				
使用教材					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4 月	4章生物の多様性と生態系 1節植生と遷移 1植物の生活と環境 2植生とその構造 3遷移と極相	・植物の生活と環境との間にどのような関わりがあるか把握させる。 ・光合成速度が光の強さや温度などの外部環境の影響を受けていることを理解する。 ・植物の水の吸収や水の上昇の仕組み、蒸散などを環境と関連させて理解する。 ・植生とその構造については、森林を中心に扱い、階層構造について理解する。 ・遷移については、光や水、土壌との関係を踏まえ、植生が移り変わっていくことを理解する。	観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつなげられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。 方法 提出物と考査により評価する	10
	5 月	2節気候とバイオーム 1バイオームの分布 3節生態系と物質循環 1生態系 2エネルギーの流れと物質循環 3生態系のバランス 4節生態系のバランスと保全 人間生活と生態系	・気温と降水量の違いによって、地球上には様々なバイオームが成り立つことを理解する。 ・日本のバイオームについては、気温の違いによって成り立っていることを理解する。 ・自然の見方としての生態系の概念、食物網やそれを通しての物質循環やエネルギーの流れを理解する。 ・生態系バランスは常に変動していること、またその変動の幅は一定であることを理解する。 ・生態系の保全の意義を把握させる。		8
	6 月	1章生物の特徴 1節生物の共通性と多様性 1いろいろな生物 2生物の共通性の由来 3細胞の特徴	以下、1学年で学んだ内容を問題演習をしながら内容を深めていく。また実験・観察を通して生命現象について学びを深めていく。		6
	7 月	2節細胞とエネルギー 1代謝とエネルギー 2酵素			8
2 学期	8 月				
	9 月	3呼吸 4光合成 5ミトコンドリアと葉緑体の起源			6
	10 月	2章遺伝子とその働き 1節遺伝子とDNA 1ゲノムと遺伝子 2DNA研究の歴史 3DNAの構造			6
	11 月	2節遺伝情報の分配 1細胞分裂とDNA 3節遺伝情報とタンパク質の合成 1遺伝子とタンパク質			6
	12 月	2タンパク質の合成 3遺伝子の発現 3章生物の体内環境とその維持 1節体内環境 1体液と体内環境			6
3 学期	1 月	2恒常性にかかわるしくみ 2節体内環境の維持のしくみ 1自律神経による調節 2ホルモンによる調節 3自律神経系とホルモンによる調節			6
	2 月	3節免疫 1生体防御 2免疫のしくみ 2節体内環境の維持のしくみ 1自律神経による調節 2ホルモンによる調節 3自律神経系とホルモンによる調節			6
	3 月	3節免疫 1生体防御 2免疫のしくみ			2

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	理科	科目名	物理基礎	単位数	2
対象学年組	3年		大学進学コース		
使用教科書	数研出版 改訂版 新編 物理基礎				
使用教材	プリントなど				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	イ 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線上に伝わる場合を中心に理解すること。	・波は媒質の振動が伝わる現象であることを理解する。 ・進行する波のグラフより、波の波長、振幅、振動数、周期、速度を計算などにより求めることができる。	プリントなどによる、問題演習	7
	5月	イ 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線上に伝わる場合を中心に理解すること。	・縦波、横波の違いを理解でき、縦波を横波的に表すことができるようにする。 ・波の独立性を理解でき、合成波の作図ができる。	プリントなどによる、問題演習	8
	6月	(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。	・進行波、定常波の区別がつき、定常波の作図ができる。 ・音の三要素を知り、それが波の何に関係するか理解する。	プリントなどによる、問題演習	8
	7月	(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。	・弦や管の振動を知り、共鳴共振現象を理解する。	プリントなどによる、問題演習	8
2 学期	8月				
	9月	ウ 電気 (ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率が異なることを理解すること。	・導体、不導体の違いを理解し、物体の種類、形状と抵抗値を計算できるようにする。 ・電流が自由電子の運動によるものであることを理解する	プリントなどによる、問題演習	8
	10月	(イ) 電気の利用 交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解すること。	・電磁誘導の基本的な性質を知る。 ・変圧器の原理を知る。 ・電磁波の性質を知る。	プリントなどによる、問題演習	8
	11月	エ エネルギーとその利用 (ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。	・電気エネルギーを得る方法を知る。	プリントなどによる、問題演習	9
	12月	エ エネルギーとその利用 (ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。	・放射線、放射能、放射性物質について違いを理解し、放射線量の単位を知る。	プリントなどによる、問題演習	7
3 学期	1月	オ 物理学が拓く世界 (ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。	・物理学の成果や応用が日常生活や社会で利用されていること、たとえばMRI、GPSなどについて知る。	プリントなどによる、問題演習	7
	2月				
	3月				

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象学年組	3年 A組 B組 C組 D組 E組				
使用教科書	最新高等 保健体育				
使用教材					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	オリエンテーション 体づくり運動 スポーツテスト練習	体育の授業を安全に行うために注意することを理解する。体育の単位習得に必要なことを理解する。体の状態に応じて運動することができる。 体力を高めるために運動することができる。握力・長座体前屈の計測を、正確に実施することができる。 スポーツテスト各種目の記録向上及び正確な測定の仕方を学ぶ。	態度、積極的な取り組み 公正、協力の態度 記録と、計測時の参加態度及び、協力体制で評価する。	8
	5月	ソフトボール バスケットボール	状況に応じたバット操作と安定したボール操作ができる。 バスケットボールの基本的なボール操作ができる。	トスバッティングができるか。色々な方法で、キャッチボールができるか。	8
	6月	ソフトボール バスケットボール 水泳	状況に応じたバット操作と安定したボール操作ができる。 バスケットボールの基本的なボール操作ができる。 クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライを組み合わせて長く泳ぐことができる。	トスバッティングができるか。色々な方法で、キャッチボールができるか。シュート、パス、ドリブルができるか。 バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、クロール各25メートルを、連続して泳ぐことができるか。	9
	7月	水泳	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライを組み合わせて長く泳ぐことができる。	バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、クロール各25メートルを、連続して泳ぐことができるか。	6
2 学期	8月				
	9月	水泳 バスケットボール ソフトボール	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライを組み合わせて長く泳ぐことができる。 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって3対3の攻防ができる。 状況に応じたバット操作と安定したボール操作ができる。	バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、クロール各25メートルを、連続して泳ぐことができるか。 正確なパスを出すことができるか。またマンツーマンディフェンスができるか。 ボールを芯でとらえて、ゴロを打つことができるか。	8
	10月	バスケットボール ソフトボール	状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって5対5の攻防ができる。 ポジションを理解して、守備をすることができる。	パス&ランによりシュートにつなげることができるか。またシュートしやすい位置に動くことができるか。 ゴロを捕球し、素早く投げることができるか。ポジション・状況に応じて、どこへ送球するかを理解しているか。	8
	11月	バスケットボール ソフトボール	ルールを理解して、ゲームを行うことができる。 ルールを理解して、ゲームを行うことができる。	ルールを理解してゲームを行っているか。 正しくルールを理解して、そのルールに従い、ゲームをすることができるか。	9
	12月	バスケットボール ソフトボール	ルールを理解して、ゲームを行うことができる。 ルールを理解して、ゲームを行うことができる。	ルールを理解してゲームを行っているか。 正しくルールを理解して、そのルールに従い、ゲームをすることができるか。	7
	1月	体育理論 生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルにおうじたスポーツ 日本のスポーツ振興 スポーツと環境	社会におけるスポーツの役割を理解する マイスポーツライフの設計 日本のスポーツ振興を理解する スポーツと環境保護の問題を考える	プリント学習及びチェックを行う。	7
3 学期	2月				
	3月				

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3
対象学年組	3年			大学進学コース	
使用教科書	All Aboard! English CommunicationⅡ (東京書籍)				
使用教材	Word Meister 1700 (第一学習社)、やさしくわかりやすい英文法 (文英堂)				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4 月	Lesson1 文法 比較表現	・英文を音読して概要をとらえることができる。 ・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。 ・基本単語を覚える。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元ごとに音読させる。 ③知識・理解 復習テスト	10
	5 月	Lesson2 文法 関係代名詞	・英文を音読して概要をとらえることができる。 ・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。 ・基本単語を覚える。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元ごとに音読させる。 ③理解の能力 単元の文法の理解の確認問題を行う。 ④知識・理解 復習テスト	12
	6 月	Lesson3 文法 間接疑問文	・英文を音読して概要をとらえることができる。 ・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。 ・基本単語を覚える。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元ごとに音読させる。 ③理解の能力 単元の文法の理解の確認問題を行う。 ④知識・理解 復習テスト	12
	7 月	Lesson4 文法 名詞を後ろから説明する分詞	・英文を音読して概要をとらえることができる。 ・基本的な文化的背景について理解する。 ・基本単語を覚える。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元ごとに音読させる。 ③理解の能力 単元の文法の理解の確認問題を行う。 ④知識・理解 復習テスト	10
2 学期	8 月				
	9 月	Lesson5 文法 to不定詞を含む表現	・英文を音読して概要をとらえることができる。 ・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 ・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。 ・基本単語を覚える。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元ごとに音読させる。 ③理解の能力 単元の文法の理解の確認問題を行う。	12
	10 月	Lesson6 文法 動詞の目的語になるif節	・英文を音読して概要をとらえることができる。 ・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 ・基本単語を覚える。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元ごとに音読させる。 ③理解の能力 単元の文法の理解の確認問題を行う。	12
	11 月	Lesson7 文法 知覚動詞	・英文を音読して概要をとらえることができる。 ・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 ・挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。 ・基本単語を覚える。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元ごとに音読させる。 ③理解の能力 単元の文法の理解の確認問題を行う。	12
	12 月	Lesson8 文法 関係副詞 : where, when	・英文を音読して概要をとらえることができる。 ・基本的な文化的背景について理解する。 ・基本単語を覚える。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元ごとに音読させる。 ③理解の能力 単元の文法の理解の確認問題を行う。	10
3 学期	1 月	Lesson9 文法 使役動詞	・英文を音読して概要をとらえることができる。 ・基本単語を覚える。 ・一定のテーマに沿って、又は特定の場面で自分の考えた内容を英文で発表したり、必要な会話ができる。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元ごとに音読させる。 ③理解の能力 単元の文法の理解の確認問題を行う。	12
	2 月	Lesson10 文法 分詞構文	・英文を音読して概要をとらえることができる。 ・基本単語を覚える。 ・一定のテーマに沿って、又は特定の場面で自分の考えた内容を英文で発表したり、必要な会話ができる。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元ごとに音読させる。 ③理解の能力 単元の文法の理解の確認問題を行う。	3
	3 月				

授業時数合計

105

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	家庭科	科目名	家庭基礎	単位数	2
対象学年組	3年		A組 B組 C組 D組 E組		
使用教科書	教育図書 「家庭基礎 出会う・かかわる・行動する」				
使用教材					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	生活の科学と文化(住生活)	住生活を考える。 快適に住まう。 住空間を計画する。 快適な住生活をお営む上で必要な正しい知識と、将来自分自身が主体的に住生活を営むことのできる実践力を身につける。	定期考査・提出物・授業への取り組み姿勢・出席状況等を考慮し総合的に評価する。	8
	5月	生活の科学と文化(住生活)	住生活を考える。 快適に住まう。 住空間を計画する。 快適な住生活をお営む上で必要な正しい知識と、将来自分自身が主体的に住生活を営むことのできる実践力を身につける。	定期考査・提出物・授業への取り組み姿勢・出席状況等を考慮し総合的に評価する。	8
	6月	生活の科学と文化(住生活)	住生活を考える。 快適に住まう。 住空間を計画する。 快適な住生活をお営む上で必要な正しい知識と、将来自分自身が主体的に住生活を営むことのできる実践力を身につける。	定期考査・提出物・授業への取り組み姿勢・出席状況等を考慮し総合的に評価する。	10
	7月	期末考査 答案返却			
2 学期	8月				
	9月	生活の科学と文化(食生活)	食生活と健康。 食生活の安全。 献立と調理。 調理実習。	定期考査・提出物・授業への取り組み姿勢・出席状況等を考慮し総合的に評価する。 調理実習は実習への取り組み姿勢を重視する。	10
	10月	生活の科学と文化(食生活)	食生活と健康。 食生活の安全。 献立と調理。 調理実習。	定期考査・提出物・授業への取り組み姿勢・出席状況等を考慮し総合的に評価する。 調理実習は実習への取り組み姿勢を重視する。	10
	11月	生活の科学と文化(食生活)	食生活と健康。 食生活の安全。 献立と調理。 調理実習。	定期考査・提出物・授業への取り組み姿勢・出席状況等を考慮し総合的に評価する。 調理実習は実習への取り組み姿勢を重視する。	10
	12月	期末考査 答案返却			
3 学期	1月	くらしのなかの「消費」 快適な生活と環境	消費行動と家庭の経済。 消費生活と資源・環境の関わり 消費生活について、興味関心を持たせ、現状を理解させる。自分の消費行動と環境問題との関わりを理解させ、消費者として自立し望ましい消費生活を実践する力を身につけさせる。	定期考査・提出物・授業への取り組み姿勢・出席状況等を考慮し総合的に評価する。 調理実習は実習への取り組み姿勢を重視する。	8
	2月	期末考査 答案返却			2
	3月				

授業時数合計

70